

コミュニケーション

それは

治療のひとつ



入院中は医療従事者から色々とお尋ね致しますが、患者さんからもわからないことや気付いたことがありますしたら、遠慮なくお尋ねください。

解説：患者さんと医療従事者が互いに情報共有することを心掛けることは治療において早めの気付きや対処につながります。患者参加型医療にご協力ください。

名乗るとは

患者参加の

一歩目



入院中は診察時や検査、お薬を飲む時など1日の内に何回もフルネームや生年月日を言っていたいだいたりします。これは患者参加型医療の一つと言えます。

解説：入院中 何度も名乗っていただくことは、互いに協力し合い、あってはならないミスゼロにするための第一歩です。久留米大学は患者参加型医療を目指しています。

患者参加型医療・IC(インフォームドコンセント)

アイシー(IC)で

みんな

アイシー(See)

よかことばい



「インフォームドコンセント」でわかりやすく説明した内容を、患者さんやご家族が十分に理解した上で治療に臨まれることを私たちは目指しています。

解説：久留米大学病院では、患者さん自身そしてご家族の皆様が治療について十分に理解、納得して治療に同意していただけるよう努力を惜しみません。

アイシーは

看護師さんも

聞くことばい



この際、看護師が立ち会い、患者さんをお手伝い致しますので、わからないことや御心配なことがありましたら遠慮なくお声掛けください。

解説：アイシーとはI.C.(インフォームドコンセント)、つまり「医師と患者との十分な情報を得た上での合意」のことです。当院ではICを行う際、看護師など医師以外の医療従事者が同席したり、IC後に疑問点や不安がないかを確認し必要な支援を行います。

ちっご医療安全川柳



久留米大学病院
医療安全管理部